

# 9月のびんぐら

## 児童みんなで協力

8月29日、遠浅小学校の児童らによって長年集めてきたリングプル75kgが、社会福祉協議会へ寄贈されました。

児童を代表して社協を訪れた4名の児童会役員は、「みんなで力を合わせて集めたリングプルなのでぜひ役立ててほしい」と話してくれました。

寄贈されたリングプルは、車椅子への交換に使用されるということです。



## 妖怪と交通安全

9月16日、室蘭地区トラック協会苦小牧支部清部常務理事と大澤事務局長が豊島教育長を訪れ、低学年向けの交通安全絵本「妖怪交通安全」を各校に1冊ずつ寄贈されました。

秋ともなれば、日没も早まり、輸送業は繁忙期を迎えます。ドライバーへの安全運転を呼びかけるだけでなく、尊い命を守るためにも子どもたちには、楽しく交通安全を勉強して欲しいと清部常務理事は話していました。

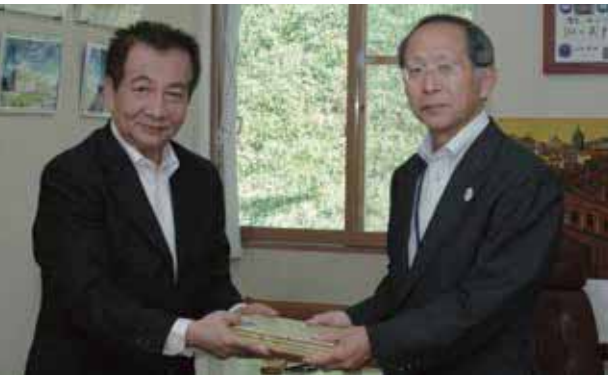


## 命を助ける力を学ぶ

救急に対する理解を深めるため設定された救急の日の9月9日、胆振東部消防組合消防署安平支署で普通救命講習会が行われました。

11名が参加した講習会では、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の操作方法について指導を受けました。

参加者からは「機械の操作に不安があったが、操作を学べて良かった」と救急が身近になった1日となりました。



## おやつから食生活を学ぶ

9月17日、カルビー株式会社による出張プログラム「カルビー・スナックスクール」が、遠浅小学校の3〜5年生を対象に行われました。

このプログラムは、おやつを通じて正しい食生活を考えるもので、1日に摂取するおやつや商品の量や商品パッケージに掲載されている成分表示の意味などを学習。

児童らにとって身近なものを用いた学習ということもあり、終始楽しそうに勉強している様子が伺えました。

## 地域社会の発展を思い

「地域のために何かできないか」という思いから、今年7月に開催された「あびら夏！うまかまつり」で豚汁を販売。その収益を寄付しようとして、9月17日、早来ライオンズクラブ三倉会長が社会福祉協議会を訪れ、贈呈式が行われました。

三倉会長から「地域福祉の活性のために有効的に使って貰えたら」という言葉とともに手渡され、受け取った荒木会長は「地域福祉の発展のために活用したい」と話していました。

